

# 人間発達文化学類

Faculty of Human Development and Culture

次世代を担う子どもたちの成長を支える学校教員や、文化を通して地域の人たちを支える人材を養成します。

学類のホームページはこちら  
<http://hdc.educ.fukushima-u.ac.jp/>



## Admission Policy | こんな人に学んでほしい

- 保育士・幼稚園や小学校・中学校・高校・特別支援学校の先生になりたい人
- わかりやすく教えられる先生になりたい人
- 人間の心理や行動の不思議について学びたい人
- 現代生活に関わる衣食住や生活経営について学びたい人
- 音楽や美術について学びたい人
- 日本・アジア・欧米の言語や文学について学びたい人
- 地域や世界の地理・歴史・経済・社会・思想について学びたい人
- 数理学や自然科学について学びたい人
- スポーツ科学や健康科学について学びたい人



## 2019 学類改革のポイント

3つの専攻を7つのコースへと改編して、各分野における学びの専門性を深めるとともに、広範囲にわたる学習をより柔軟に行うことができるようにしました。また、各コースの学習内容を確かなものとするために、コース専門プログラムを用意しました。

### 新しい学類構成

教育実践コース

心理学・幼児教育コース

特別支援・生活科学コース

芸術・表現コース

人文科学コース

数理自然科学コース

スポーツ健康科学コース

### 取得できる教員免許

- 幼稚園教諭一種免許状
- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状  
(国語/社会/数学/音楽/美術/保健体育/家庭/英語/理科<sup>\*1</sup>)
- 高等学校教諭一種免許状  
(国語/地理歴史/公民/数学/音楽/美術/保健体育/家庭/英語/理科<sup>\*1</sup>)
- 特別支援学校教諭一種免許状<sup>\*2</sup>

### その他の資格

- 社会教育主事(基礎資格)<sup>\*3</sup>
- 保育士<sup>\*4</sup>
- 日本語教員<sup>\*5</sup>
- (公財)日本体育協会公認スポーツ指導者<sup>\*6</sup>
- 社会福祉主事(任用資格)<sup>\*7</sup>
- 公認心理師<sup>\*8</sup>

<sup>\*1</sup> 理科については他学類で開講されている授業の単位を取得する必要があります。  
<sup>\*2</sup> 特別支援学校教諭の免許状は単独では取得できず、小学校、中学校、高等学校および幼稚園教諭免許状のうちいずれかを併せて取得しなければなりません。  
<sup>\*3</sup> 必要単位を修得し、卒業後1年以上の社会教育主事補あるいは5年以上の学校教員などの教育関係職に従事する必要があります。  
<sup>\*4</sup> 15名の定員があります。心理学・幼児教育コース所属のみ取得可能です。ほかのコース所属では取得できません。  
<sup>\*5</sup> [日本語教員養成コース]の単位を修得する必要があります。  
<sup>\*6</sup> 指定する科目を習得することにより「スポーツリーダー」「スポーツプログラマー」「ジュニアスポーツ指導員」および「共通科目(他のスポーツ指導者資格取得時に必要)」の講習免除資格(講習会の受講が免除される)を取得することができます。上記資格などは卒業年度に日本体育協会の試験を受けることで、付与されます。  
<sup>\*7</sup> 必要単位を修得し、卒業後、地方公務員として任用され、福祉事務所などの部署に配属される必要があります。  
<sup>\*8</sup> 国家資格「公認心理師」の受験資格取得に必要な科目を開講します。

### 卒業後の進路

- 保育士
- 幼稚園教員
- 小・中・高校教員
- 特別支援学校(盲学校・聾学校・養護学校)教員
- 社会教育主事
- 児童館専門員
- 学童保育指導員
- 塾講師
- 国家公務員
- 地方公務員
- 専門コンサルタント
- 医療・福祉関連
- 一般企業
- 日本語学校教員
- 英会話講師
- NGO職員
- 銀行員
- SE、マスコミ・出版業
- 旅行・サービス業
- 不動産業
- 商社・企業(国際交流・海外事業担当)
- 社会人教育サービス
- 大学院進学 など
- 音楽教室講師
- 音楽サークル指導者
- イベント企画者
- 劇伴・コマーシャル音楽制作者
- 印刷・広告業
- イラストレーター
- インテリア用品デザイナー
- スポーツ選手
- スポーツ指導者
- フィットネスクラブ
- マスコミ・出版業(スポーツ分野)
- スポーツマネジメント業
- 健康増進産業 など

カリキュラムの特長

コース専門プログラム制による確かな学力と実践的な応用力の形成

人間発達文化学類では、生涯にわたる人間の発達を個人・社会・文化との関わりにおいて支援していく人材の養成を目指しています。保育士・幼稚園教員は心理学・幼児教育コースで、特別支援学校教員は特別支援・生活科学コースで、小学校・中学校・高等学校教員は全コースで養成しています。学類生は、自らの興味・関心や目指す進路に応じて、1年次からいずれかのコースに所属し、各コースの用意するプログラムを選択して学んでいきます。それにより、専門に関する確かな知識・技術と実践的な応用力を身につけることができます。

小・中・高教員は全コースで養成

※カリキュラムは構想段階(平成30年4月1日現在)であり、科目名などは変更になる可能性があります。

	1年次	2年次	3年次	4年次
学びの目標	発達・文化のリテラシー(基礎・基本)を学ぶ 学びのプログラムを選択する	発達・文化の専門的な知識・技術を学ぶ 問題解決型学習の基礎を学ぶ	自ら課題を立て、専門的知識・技術を活用して 課題を解決するなかで、専門的知識・技術の 実践力を身につける	専門的知識・技術をさらに深めると ともに、学びの集大成である卒業研究を 完成させる
基盤教育	<b>接続領域</b> ・スタートアップ科目 ・ライフマネジメント科目 ・外国語 ・コミュニケーション科目	<b>1年次の授業風景</b> 1年次にはアカデミックスキルを 学ぶ授業があります。		
	<b>教養領域</b> ・学術基礎科目 ・キャリア設計科目 ・健康・運動科目 ・外国語科目 ・情報科目	・キャリアモデル学習 ・インターンシップ ・教職入門	<b>4年次の授業風景</b> 少人数のゼミで、卒業論文 のテーマについて研究したり、 討論したりします。	
	<b>問題探究領域</b> ・問題探究科目 ・自主学習プログラム ・問題探究セミナーI	・問題探究セミナーII		



### 学類長メッセージ

#### 入学時から専門のコースへ主体的に柔軟な学習を

人間発達文化学類は、学生の皆さんが自ら選んだ専門分野について、より深く学ぶことができるように、現在の3専攻という構成を2019年度から7つのコースに改編します。入学の時点から各コースに所属することにより、各分野における専門的な学びをこれまで以上に深めるとともに、その専門的な学びを軸として、一人ひとりの興味や関心、希望する進路などに応じて、主体的に柔軟な学習を行うことができるようになります。

さらに、これまで重視してきた地域での実践をさらに充実させます。課題解決のための具体的な取り組みを通して、子どもたちや地域の方々ともふれ合いながら、それぞれの学びの成果を現実の社会に応用する力を養います。

人間発達文化学類長 朝賀 俊彦 教授

研究テーマ／ 統語と意味の語彙的インターフェイス研究



コース専門科目	教育実践コース	心理学・幼児教育コース	特別支援・生活科学コース	芸術・表現コース	人文科学コース	数理自然科学コース	スポーツ健康科学コース
教育実践コース	・日本教育史 ・教育課程論 ・外国の教育	・社会科学習指導論A ・総合的な学習の指導法	・子どもと特別活動 ・教育と社会A ・数学科授業研究	・国語科授業研究 ・生活科学習指導論	・知覚・認知心理学 ・社会・集団・家族心理学 ・障害者(児)心理学	・知的障害者教育課程論 ・知的障害者の行動観察とアセスメント ・重複障害・軽度発達障害教育総論	・食物学 ・生活経営学
心理学・幼児教育コース		・人間関係の発達と保育 ・幼児の環境と保育	・司法・犯罪心理学 ・健康・医療心理学	・保育カリキュラム論 ・総合表現(劇)	・幼児臨床心理学		
特別支援・生活科学コース			・知的障害者学級経営論 ・知的障害者心理学特講	・人間と衣服 ・住環境学	・食品加工概論および実習		
芸術・表現コース			・絵画 ・彫刻 ・美術科教育法	・器楽演奏研究 ・指揮法研究 ・音楽史	・声楽アンサンブル ・ピアノアンサンブル ・音楽科授業研究	・美術史演習旅行 ・美術解剖学 ・芸術学	
人文科学コース			・古代・中世文学史 ・日本語の変異 ・自然災害と人間	・日本史史料講読 ・英語学概論 ・初期近代英米文学	・英語学演習 ・英米文学演習	・現代日本経済論 ・ヨーロッパ古代・中世史	・書道 ・日本語教育実習特
数理自然科学コース			・代数学II ・幾何学II ・確率論・統計学	・理科学習指導論 ・理科の実験指導	・代数学統論 ・幾何学統論	・物質化学 ・生命環境の科学	・地球惑星の科学
スポーツ健康科学コース			・スポーツ運動学 ・スポーツと文化 ・救急処置および看護法	・スポーツ心理学 ・体カトレーニング	・スポーツ指導論 ・スポーツ政策論 ・運動処方	・健康科学演習 ・野外活動	

※代表的な科目です。

コース専門科目以外の学類科目を履修することで、発達・文化に関する 学びの幅を広げる

卒業研究基礎演習 → 卒業研究演習 → 卒業論文

プレゼンテーション演習

自由選択: 自らの興味・関心にしたがって、基盤教育および学類内外の科目から選んで履修する

教員紹介

※平成30年4月1日現在

<b>教育実践コース</b> 阿内 春生(教育の条件整備を考える) 秋山 了(数学科「わかる・できる・おもしろい」授業づくり) 鶴沼 秀雅(社会科教育とカリキュラム開発) 太田 光一(西洋教育思想) 北川 裕子(保健体育科における理論と実践研究) 坂本 篤史(授業研究における教師の学習過程の研究) 齋藤 幸男(学校経営に関する実践的研究) 芝田 直久(社説・コラム等の授業での活用、スピーチや実用英語の研究) 嶋 英治(音楽科における授業理論の研究) 谷 雅泰(日本教育史、近代的学校の起源) 高橋 正人(高等学校における国語科教育に関する指導方法についての研究) 中田 スウラ(競争的学歴世界を変える生涯学習) 浜島 京子(子どもの家庭生活と家庭科の教育) 松下 行則(道徳! 好きですか。道徳って何?) 三浦 浩喜(中小学校の美術教育の実践的研究) 森本 明(算数、数学の授業とカリキュラムの構成) 野崎 修司(小学校理科教育、エネルギー領域)	渡辺 隆(児童虐待、障害児者の家族支援) <b>特別支援・生活科学コース</b> 内田千代子(生徒の問題行動、学校精神保健) 大関 彰久(社会の変化に対応した特別支援教育のあり方) 角間 陽子(家庭科教育の研究、生活経営学) 鈴木 晃(住まい方から読み解く居住者のニーズについて) 高橋 純一(障害理解の促進、障害児者の見え方・感じ方) 鶴巻 正子(発達障害児の読書、書字への支援) 千葉 養伍(食品成分とその関連酵素の研究) 千葉 桂子(衣服のデザインと機能、衣生活文化) 中村 恵子(調理のコツとおいしさについて)	佐藤 佐敏(読みの力を高める国語科教育) 佐藤 元樹(英語の言語現象・構文の研究) 澁澤 尚(漢文学、漢字文化、古代の思想・文学・神話、漢字教育) 高木 修一(英語教育学[英語リーディング、英語テストング]) 高田 英和(イギリス文学、文化研究) 高橋 優(ドイツ、ロマン主義の文学と思想) 高橋 由貴(日本近代文学、比較文学研究) 中川 祐治(日本語の文法、語彙、日本語教育) 中村 洋介(自然災害科学、防災教育) 初澤 敏生(地域文化構造の調査と分析) 半沢 康(日本の方言の研究) 牧田 実(コミュニティとまちづくり)
<b>心理学・幼児教育コース</b> 白石 昌子(幼児の音楽活動の内容や方法) 住吉 チカ(認知機能の発達と障害について) 高谷理恵子(発達に影響を及ぼす諸要因の検討) 富永美佐子(青年期の進路発達とその支援) 西内 裕一(シティンシップ教育の方法論) 原野 明子(幼児の仲間関係の発達) 飛田 操(人間関係と集団についての心理学) 保木井啓史(集まり場面での子どもと保育者の相互作用、保育者の専門性)	白石 昌子(幼児の音楽活動の内容や方法) 住吉 チカ(認知機能の発達と障害について) 高谷理恵子(発達に影響を及ぼす諸要因の検討) 富永美佐子(青年期の進路発達とその支援) 西内 裕一(シティンシップ教育の方法論) 原野 明子(幼児の仲間関係の発達) 飛田 操(人間関係と集団についての心理学) 保木井啓史(集まり場面での子どもと保育者の相互作用、保育者の専門性)	<b>数理自然科学コース</b> 朝賀 俊彦(言語の仕組みについての研究) 飯嶋 良太(言語芸術、特に英語、北米のもの) 井美 充史(日本古典文学、古典教育) 小野原雅夫(カント倫理学、政治哲学、平和論) 鎌和田 賢(ドイツ近世史、ヨーロッパ宗教社会学) 川田 潤(主に英語圏の文化の研究) 小島 彰(社会的な再生産に関する理論) 小松 賢司(日本近世社会学) 佐久間康之(外国語活動、英語教育と心のメカニズム)
<b>人文科学コース</b> 朝賀 俊彦(言語の仕組みについての研究) 飯嶋 良太(言語芸術、特に英語、北米のもの) 井美 充史(日本古典文学、古典教育) 小野原雅夫(カント倫理学、政治哲学、平和論) 鎌和田 賢(ドイツ近世史、ヨーロッパ宗教社会学) 川田 潤(主に英語圏の文化の研究) 小島 彰(社会的な再生産に関する理論) 小松 賢司(日本近世社会学) 佐久間康之(外国語活動、英語教育と心のメカニズム)	<b>スポーツ健康科学コース</b> 小川 宏(体育、スポーツの意義と目的) 川本 和久(陸上競技、コーチング、トレーニング) 菅家 礼子(質の高い身体教育の探究) 工藤 孝幾(運動学習に関する心理学的分析) 杉浦 弘一(コンディショニング、スポーツと健康の医学) 鈴木裕美子(身体表現にみられる伝承と創造) 中村 民雄(日本人のスポーツ受容と身体技法) 蓮沼 哲哉(スポーツと社会が持つ関連性の研究) 森 知高(体育科における目的と方法の探究) 安田 俊広(骨格筋の疲労と損傷のメカニズム)	<b>教員自然科学コース</b> 相原 義弘(多様体上のネヴアンリンナ理論) 瀧口 和也(和算(特に塩竈神社の算学)の研究) 中田 文憲(微分幾何学、ツイスター理論) 平中 宏典(理科教育、地学教育とICT活用の研究) 水澤 玲子(島嶼生植物の繁殖様式の進化) 村上 正義(小学校理科教育、科学教育) 和田 正樹(解析学・確率論)

アドバイザー教員 学習や進路など大学生活全般のアドバイスを行います。  
 1年次前期 …… スタートアップセミナー教員 1年次後期～3年次前期 …… 問題探究セミナー教員 3年次後期～4年次 …… 卒業研究指導教員

●左記の担当教員をアドバイザーとする小集団教育を行います。



## 人間発達文化学類の学生が 4年間で体験し、学ぶこと

人間発達文化学類では、人間の発達を支援する教育や文化に関する基礎的、専門的知識や技術を有し、社会における現代的、地域的課題への問題意識をもち、それらの解決に実践的に取り組む人材の養成を目指します。学類生は、1年次から7つのコースに所属し、学類基礎、学類専門、自由選択、卒業研究のカリキュラムを通じて学んでいきます。また、専門知識・技術の確実な定着と、認知的・社会的スキルの高度化、学際的課題への対応をはかるために、コース専門プログラムを設置しています。



### PICK UP!

1年前期

#### 「自然体験実習」



小中学生が参加する「自然体験学校」を企画運営します。8月の本番に向けて、仲間とともに企画を考え、話し合い、準備する中で、考えを伝える力や聴く力、企画力が身につく、子どもとの関わりイメージがつかめるとともに、多くの仲間を得られます。

3年前期～

#### 「教育実習」



教師を目指す人にとって必修の科目。理論を知っているだけでは教師は務まりません。理論を実践力として働かせる必要があります。理論を実践力につなげていく最初の学びの場が「教育実習」です。4週間、幼稚園や学校に通って学びます。

2年前期～

#### 「学校教育支援実習」 (学校ボランティア)



学校現場で教員の実務の補助にあたり、実践的指導力を養い、学校理解を深めます。2年次では3年次の教育実習への準備、3・4年次では教育実習で身につけた知識や技能を生かし、教員としての資質能力を高めます。教職登録をした2年生以上が対象です。

人間発達文化学類  
教育実践コース  
心理学・幼児教育コース  
特別支援・生活科学コース  
芸術・表現コース  
人文科学コース  
数理自然科学コース  
スポーツ健康科学コース



## 卒業生と在學生に インタビュー!

### 実践的な学びと 仲間との交流が支えに

現在、私は小学校で4年生の担任をしています。子どもの成長を見て、支えていける教師の仕事は、とてもやりがいがあります。新任1年目から担任クラスを持つにあたって非常に役立ったのが、教育実習や学校ボランティアでの経験でした。また教員をともに志した大学時代の仲間との交流も私の支えです。現場での悩みを相談し合ったり、実践事例の情報交換をしたりと、いつも刺激を受けています。皆さんも福島大学で実践的な学びをし、たくさんの友人と出会ってください。

福島市立小学校教諭  
卒業生 高坂 琴香さん  
(2016年度人間発達専攻卒)



### 理論と実践の両面で バランスのよい成長を

私の目標は、大学院へ進学して研究・実践に携わる心理学の専門家になることです。そのため他大学を卒業後、心理学を学べる人間発達文化学類に学士入学しました。実際に学び始めると、さまざまな心理学の分野の先生が基礎から応用まで幅広く体系的に教えてくれるので、理論と実践の両面がバランスよく成長できていると感じています。現在は青年心理学を扱うゼミに所属しているので、大学院進学後の研究にもつなげていけるような質の高い卒業研究をしたいと考えています。

人間発達専攻4年  
在學生 三上 佳祐さん  
(青森県立八戸西高等学校出身)



## 1年次からはじまる専門コース

### 教育実践コース

教育実践コースは、学校教員になることを目指す学生が中心になるコースです。学校現場は社会・地域の変化など複雑な環境に晒されています。その中で子どもの学びを支え、確実な成長を助ける教員が求められています。本コースでは学校教員として求められる実践力をつけることを目指します。

#### 主な科目

- 子どもと学習活動
- 社会科教育法
- 教育行政学
- 理科学習指導論
- 子どもの歴史
- 家庭科学習指導論A
- 子どもと道徳
- 子どもの生活と遊び
- 国語科教育法
- 子どもと自然A

#### 特徴的な科目

##### 教育の方法A

坂本 篤史

これからの学校教育に向け、何をどのように教えるのかについて広くかつ深く学びます。授業では、今まで受けてきた学校教育を教師側の視点に立って振り返りつつ、具体的な事例や文献資料を基にした学生同士の意見交流や話し合いを通して、自身の授業観を磨いていきます。

##### 算数科学習指導論

森本 明

算数科の学習指導に必要な基礎的・基本的な資質・能力を身につけます。小学校算数科の目的・目標、育成すべき資質・能力、学習指導の内容および学習指導の方法について理解するとともに、指導案作成や模擬授業を通して、算数科授業を構成・実践できるようにします。

### 心理学・幼児教育コース

本コースは、人の行動・心理についての知識を得るとともに、実験・調査・観察などの科学的手法によって研究を行う心理学の分野と、乳幼児の発達を学びつつ、幼児期に相応しい経験とは何かを探る幼児教育の分野で成り立っています。小学校教員や公務員心理職などをを目指す人、幼稚園教諭や保育士を目指す人に向いています。

#### 主な科目

- 発達心理学
- 保育・幼児教育の人と思想
- 教育心理学
- 幼児発達心理学
- 教育相談心理学
- 保育カリキュラム論
- 心理学的アセスメント
- 幼児の表現と保育
- 教育・学校心理学
- 幼児と音楽

#### 特徴的な科目

##### 心理学的支援法

富永 美佐子

心理的な支援者の状況に応じて、適切な支援方法を選択・調整する力と他職種連携に必要なコミュニケーション力を育成します。心理療法・カウンセリングの知識はもちろん、グループワークで、実践の基礎を経験し、その後の演習・実習につなげます。

##### 臨床幼児教育研究

原野 明子

本授業では、模擬保育を体験しながら、保育に対する理解を体験的に深めていきます。実際に保育をする際には、保育のねらいや時期を設定したうえで、活動内容を決め、保育案を書き、実践します。まずは、体で保育者の動きを少しばかり経験し、その後実習に臨むことになります。

### 特別支援・生活科学コース

知的障害・肢体不自由・病弱などサポートを必要とする子どもの発達支援に関する理論や、家庭・地域社会に関わる生活科学の基礎について広く学び、実践を通して理解し身につけ、探究していきます。子どもたちの発達を支援し特別支援学校教諭を目指す人や、生活の基礎をきちんと学びたい人に向いています。

#### 主な科目

- 特別支援教育概論
- 食と健康
- 知的障害者の行動分析
- 食生活論
- 病弱者の生理・病理・心理
- 衣服のデザインと機能
- 知的障害者教育指導法
- 住生活学
- 知的障害者教育課程論
- 家庭科教育法・授業研究

#### 特徴的な科目

##### 知的障害者の心理・生理・病理

鶴巻 正子

知的障害児・者への支援を行うためには、その前提となる特性の理解が必要となります。この講義では、心理学、生理学、病理学などの基礎的観点から、知的障害児・者の特性を学習し、支援に生かす方法について学びます。

##### 調理学及び基礎実習

中村 恵子

料理をおいしく仕上げるためには、「料理のコツ」を知って食材を活かす必要があります。この授業では、家庭で扱う基本的な料理作りをとおして、料理のコツといわれる操作の科学的な理由や、調理過程で変化する食品の特性について学習します。

### 芸術・表現コース

芸術の意義を理解し、音楽や美術に関わる力量を理論的、実践的に身につけるための、芸術の薫り高いコースです。芸術表現者の育成とともに、芸術領域(音楽・美術)を活用できる学校教員(小・中・高)、さらにはアートコーディネーターといった芸術の力を地域で活かせる人材を育成します。

#### 主な科目

- 子どもの音楽表現
- 子どもの造形活動
- 作曲基礎
- 絵画
- 声楽演奏研究
- 彫刻
- ピアノ演奏研究
- 工芸デザイン
- 音楽科教育法
- 美術史

#### 特徴的な科目

##### ピアノ基礎II

中畑 淳

この授業では、ピアノ演奏のための基本的な技術を学びながら、楽曲を仕上げていきます。また、伴奏法や鍵盤楽器の歴史もとりあげながら、楽曲の解釈研究やピアノによる演奏表現を深めていきます。

##### 素描II

新井 浩

この授業では諸造形科目の基礎となる見方・考え方を学びます。現代のさまざまなメディアから発信される現代的イメージも押さえながら、優れた表現者・教育者に必要な事の本質的把握、ならびに興味を持って事象に迫る探究心を養います。



## 卒業生と在学生にインタビュー!

### 漠然としていた将来像が 明確な将来の夢へ

大学生生活は時間の使い方が自由です。授業も、自ら考え、仲間と創り上げるものが多くなります。また地域生活文化クラスでは、社会知識を広く身につけ、人に教えることの大切さと難しさを学びました。ボランティア活動も社会を深く考えるきっかけとなりました。この濃厚な4年間によって漠然としていた将来像が、卒業する頃には明確な将来の夢となりました。今、大学で得た知識と経験を結びつけて考察する力や自己管理能力は、仕事にとっても活かされていると感じています。

静岡県職員  
卒業生 佐藤 和也さん  
(2013年度文化探究専攻卒)



### 未来を創る子どもと 地域課題の解決を

私は教師を目指して人間発達文化学類に入学し、教科の専門性を高めるために文化探究専攻を選びました。そして講義や地域の学びの中で、東日本大震災によって生じた福島固有の地域課題などに直面し、今後はそれらを解決していくための教育が必要であると強く感じました。そのためゼミで今、問題解決を特徴とする理科教育と科学的根拠を構成する数学を学び深めています。卒業後は、小学校教員として未来を創る子どもたちとともに地域課題の解決に携わってまいります。

文化探究専攻4年  
菊地 実咲さん 在学生  
(福島県立福島南高等学校出身)



## ● 1年次からはじまる専門コース

### 人文科学コース

言語や文学、地域や社会のあり方、その歴史や思想など、文化について広く深く学ぶことができます。そのような学びを踏まえて、地域の文化を継承し、発展させていく力を養います。人文学諸分野の知識を活用した仕事に就きたい人、国語・英語・社会に強い小学校教員や、中学・高校の国語・英語・社会の教員を目指す人に向いています。

#### 主な科目

- 漢字・漢文学概論
- 英米文学史
- 現代社会と文化
- 日本文学特講
- ヨーロッパ言語文化論
- 各教科教育法・授業研究
- 日本語教育学概論
- 日本近代社会史
- 英語学概論
- 都市とまちづくりの地理学

#### 特徴的な科目

#### 国語科教育学 佐藤 佐敏

近代文学、古典文学、漢文学、言語学、日本語学といった言語文化の教養をベースとして、国語に強い小学校教員を目指したり、中学校、高等学校の国語の教員免許状を取得したりするために、国語科教育の理論と実践を学習します。楽しく力のつく国語の授業方法を学び合います。

#### 異文化理解 高木 修一

ロールプレイやケーススタディなどさまざまなアクティビティを行い、異文化理解における諸問題を体験します。その後、ペアやグループでのふり返りを通して、異文化コミュニケーションの理論と実践力を身につけます。

#### 戦争と平和の倫理学 小野原 雅夫

本授業では、戦争と平和についての各自の思いを出発点として、グループディスカッションなどを通じて、根拠に基づく確固とした考えへと深化させていきます。非暴力コミュニケーションのワークショップも行い、身近な紛争を解決するスキルも学んでいきます。

### 数理自然科学コース

身近な自然や先端的課題の中から数学や自然科学に関わる諸問題を見だし、それらを探究的に解決する学びを重ねていくことで専門性を高めていきます。社会において数学や自然科学に深く関わっていききたい人、算数や理科に強い小学校教員、中学・高校の数学教員を目指す人に向いています。

#### 主な科目

- 行列とベクトル
- 基礎解析学
- 代数学
- 幾何学
- 数学科教育法・授業研究
- 子どもと自然
- 物理学
- 物質化学
- 生命環境の科学
- 地球惑星の科学

#### 特徴的な科目

#### 解析学統論 和田 正樹

高校で学んだ数列の極限や関数の連続性について、論理記号を用いた厳密な定義を学び、それに基づいた証明を不等式による評価で行えるようになることを目指します。加えて、関数列の極限などの新しい概念や、それを踏まえた高度な計算の技術について学びます。

#### 理科学習指導論 平中 宏典・水澤 玲子・野崎 修司・村上 正義

小学校の先生を目指す人を対象とした理科の指導法に関する授業です。模擬授業を教員役や児童役として経験する中で、子どもの見方・考え方に沿った授業の創り方、身近な自然を対象とした教材の取り扱い方、具体的な観察実験の方法や安全管理の方法などを学びます。

### スポーツ健康科学コース

最新のスポーツ理論と技術を通してスポーツ技能の向上と指導力を高めるとともに、生涯にわたるスポーツライフの実現と健康福祉について学びます。体育教員になりたい人、一流のアスリート、コーチを目指す人、さらにスポーツを通して地域に活力を与える仕事に就きたい人に最適なコースです。

#### 主な科目

- 生理学
- 解剖学
- 生涯スポーツ論
- 運動処方
- スポーツと文化
- スポーツ心理学
- 保健体育科教育法
- コーチング論
- スポーツ医学
- スポーツ実技科目

#### 特徴的な科目

#### スポーツ企画演習 蓮沼 哲哉・小川 宏

受講生が地域の課題のニーズを調査し、実際にスポーツイベントを企画、準備から開催まで行う授業です。学生が主体となって計画を立て、大学外の各団体などと連携しながら準備を進め、当日のイベント運営まで取り組むことにより、社会で必要な実践力を身につけていきます。

#### トレーニングマネジメント 川本 和久

トレーニングは、アスリートとしての最高の状態(競技の状態)を作り上げることが最重要課題です。陸上競技のナショナルコーチとしての経験を活かして、トレーニングの周期性と期分け理論をもとに競技力を向上させるためのトレーニング計画の構成方法を紹介します。

## PICK UP!

### 特別支援教育概論

#### 「障害に対する理解を深める」

知的障害や発達障害など、支援の必要な子どもたちの特性と支援方法について主に1年生を対象として基礎的内容を広く学びます。受講した学生の障害に対する理解を深めることも講義のねらいです。



### 健康科学演習

#### 「運動中の生体情報を収集・分析」

運動や運動をくり返すこと(トレーニング)によってヒトの体は変化します。この演習では、それら生体に関するデータの収集法について習得し、健康やスポーツ競技にどのように活かすかについて学びます。

